



フードメッセのにいがた 2017(朱鷺メッセ) に出展した県央地区の団体を訪ねて

11月8日(金)新潟市は朱鷺メッセに於いて、フードメッセの開催された。新潟を舞台に、全国の市場を結ぶ食の見本市。食品・食器・包装・産学研究など、一食に関するあらゆるもの。普段では見えない最新の産業界の最新情報を携えた450の出展社と業界関係者や店舗経営者など、日本国内はもとより、海外からのバイヤーも旬の材料を求めて、朱鷺メッセに参集した。9回目を迎える今回は、昨年より10%増えた。より良い食を求めて。

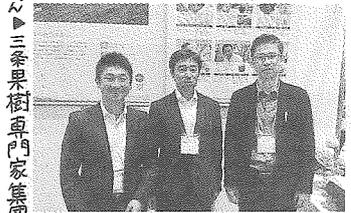
主催者である篠田新潟市長は「本市が農業分野で国家戦略特区の指定を受けてから3年が経過。この間、㈱ローソンやJ.R.東日本㈱を始めとする多くの企業による農業参入や、3軒の農家レストランの開設。さらに食と農の魅力を生かし、交流人口の拡大を図る新たな観光形態「ガストロノミーツーリズム」を推進する。そのため、全国初のレストランパスを昨年からの運行している。積極的に事業を展開している。あんしん取材班は県央地区の出展社15を訪問して取り組みを伺った。

創業以来、鉋かんを木の部分である鉋台を作り続けてきた。メイカー。発想の転換で鉋をひっくり返して「鉋節削り器」を発表し注目を集めている。近年伝統が見直されて本格的な増えるなかで、無垢材を削り出して箱を作り、頑丈で壊れにくく、削った後の鉋節を取り出すすべり台も鉋台の応用。徐々に人気上昇中!

の創出を目的として活動。代表の土田農園の土田広樹さんは「三条産フルーツの消費拡大、後継者不足、産地としてどう生き残れるかを研究しています。今後は農地所有資格法人、株式会社「想樹」を設立する。

▼株式会社 青芳(燕市小池5143) 1950年代から輸出用洋食器(カトラリー)の製造を開始。1985年に生活雑貨ライン「カジユアル」プロジェクトをスタート。展示コーナーはヴィンテージ加工のコーヒードリッパー各種。テブルウェアの展示即売に加え、カップリングスフィンに名入れをローマ字でエッチング。実演販売。コーナールのバックパネェル。いっぴい。東京オリオンピクに向け商品開発した。世界各国の国旗をデザインしたPVC製コーンスター(税込300円)を展示販売。人気商品で東京でのイベントで3日間1,500枚販売実績を持つ。

新潟からの発信に大いに期待し各社のご繁栄を祈念いたします。



今月のクイズ

下の図のような土地があります。この土地を3つに同じ面積・同じ形で分けるには、どのように分ければよいでしょうか?

▼当選者発表
 桑原 繁雄さん(加茂市)
 鳥羽 一美さん(三条市)
 丸山 光男さん(燕市)
 原 以美さん(三条市)

▼丸山和子さん(加茂市)

Vol.345のクイズのしめきりは11月10日まで。おはがきおまちしております。

会場風景
会場内
山谷製作所(三条市東新保12-19)
三条果樹専門店(三条市井戸場)
岩崎食品(新潟市西蒲区松野尾13)
青芳 青柳修次さん

日本最長運行のJ.R日本貨物鉄 と北朝鮮

社長 安藤幸広

日本最長の貨物鉄道は、JR貨物の「日本貨物鉄道」である。その最長の貨物列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。

この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。

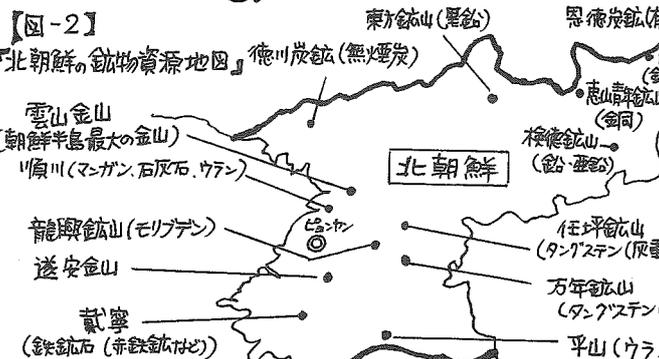
この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。この列車は、北朝鮮の平山駅から日本の青森駅まで、約4,300kmの距離を走る。

北朝鮮の資源は、日本にとって重要なものである。北朝鮮は、鉄、銅、鉛、亜鉛、コバルト、マンガン、石炭、石油などの豊富な資源を有している。日本は、これらの資源を輸入し、工業生産に活用している。北朝鮮は、日本と密接な貿易関係を築き、経済的に依存している。



北朝鮮の資源は、日本にとって重要なものである。北朝鮮は、鉄、銅、鉛、亜鉛、コバルト、マンガン、石炭、石油などの豊富な資源を有している。日本は、これらの資源を輸入し、工業生産に活用している。北朝鮮は、日本と密接な貿易関係を築き、経済的に依存している。

北朝鮮の資源は、日本にとって重要なものである。北朝鮮は、鉄、銅、鉛、亜鉛、コバルト、マンガン、石炭、石油などの豊富な資源を有している。日本は、これらの資源を輸入し、工業生産に活用している。北朝鮮は、日本と密接な貿易関係を築き、経済的に依存している。



北朝鮮の資源は、日本にとって重要なものである。北朝鮮は、鉄、銅、鉛、亜鉛、コバルト、マンガン、石炭、石油などの豊富な資源を有している。日本は、これらの資源を輸入し、工業生産に活用している。北朝鮮は、日本と密接な貿易関係を築き、経済的に依存している。